

～遊び易さ重視の機械。そして思想が悪すぎる～ “アメリカン番長 鏡”の所感



グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。

皆様、こんにちは。GA社 代表取締役 青山真将樹です。

今回は“6号機1発目”、“アメリカン番長 鏡”のここまでの所感についてお伝え
いたします。ぜひお読みください。よろしくお願ひ申し上げます。

■超高ベース×高T1Y×低一撃性の甘デジ。 プロ仕様の機械。客層を上げられる機械ではなさそう。

【アメ番 ここまでのまとめ】

- ①メーカー発表値よりベースが高く、射幸性は想定より低そう。
- ②顔認証データによると、番長3.バジ絆から流れているプレイヤーが多い。
- ③現状は中間設定以上を使っている比率が高い。
よってベースが更に高くなっており、イン枚数が高く出ている。
- ④設定6がさほど出ない。一撃性が低く、トータル差枚で大きな数値は、
ショボ差玉を積み上げたモノ。完全に長時間遊技層向きの機械。
- ⑤設定2が取れない。粗利を取ろうと思ったら設定1を使わざるえない。
- ⑥番長3の稼働が上がったという店多数。現状は比べ打ちされている模様。

ホールコンデータしか見ないで喜ぶ業界人は本当にダメだと感じています。
本機は、想定以上に「超高ベース少なめ投資 → ショボ出玉」を繰り返し、
“ちょっとづつ差玉を増やす”設計の機械でした。完全に長時間遊技層の
「プロ又はプロもどきでない打ち切れない機械」で、「6号機市場に向けて
新しい客層を確保すべき」という方向性とは真逆の機械だと考えます。

本機について、拡散されている高評価意見は、利害関係者による作為的な
仕込みだと私は分析していますが、無知なホールはそれらに騙されて固定客が
付かない機械に設定を入れ続けるでしょう。ショボ出玉でも遊びやすいという
方向性は、6号機市場の宿命かと思いますが、本機には致命的な欠陥が2つ
あり高設定を駆使しても、ファンはつかないと考えます。その欠陥とは下記です。

- 1) 設定示唆演出に極端に頼りすぎていて、低設定が使いづらい。
- 2) 低設定出率が高すぎる。高設定が跳ねないので、中間設定比率を上げ
ないと稼働安定しないが、この低設定出率だとホールは安定的に中間設定
を入れない。

上記のような意見に対して、低レベルな開発者ほど「粗利欲しさに、ホール寄り
の意見を書いている」と捉えると思います。パチスロ開発者が全体的に人の
質が低いことは根深い業界問題ですが、上記1)2)の欠陥を本機が抱える主
要因は、開発した人間が「どうせホールは設定を入れないだろう。無理やりでも
高設定を入れるように設定示唆演出を多く、それでも低設定しか入れない
ホールがあるだろうから、低設定は甘めに、、」という邪推をもって開発した点
だと考えます。且つ、極端な高ベース機にして「初期イン枚数だけ稼げれば、
ホールを騙せるだろう」と完全に舐め切ったゲーム設計にしていると感じます。
商品企画にとって最も大事な点は“思想”です。モノを通じて思想はお客様に
伝わります。アメ番は「設定が入っているうちにタカってやろう」という悪思想の
輩客には支持されれると思います(番長ファンは打たない)。初期稼働を見て、
アメ番を成功機種と捉えたと、悪思想客しか集まらない店になると思います。
ぜひ、参考にしてください。本日も最後までお読み頂きありがとうございました。

【会員の皆様】 11月29日(木) 『時流預言セミナー2019』を開催!! 詳細は次項をご確認ください。